



「善力前進」ともに伸びよう 善前小 ～はずむ心 きたえる体 学ぼう創ろう「みどりの学園」～

## 道具を研ぐこと

やまだ なおひろ  
校長 山田 尚弘

本年度も教育活動が順調にスタートし、子どもたちも新しい学年、学級に少しずつ慣れてきたところです。また、私自身も善前小学校3年目となり、「ふるさと学校、善前小」の推進のために、全力を尽くしたいというエネルギーが充満しているところです。そこで、子どもたちがさらに素晴らしい家庭生活や学校生活、地域での生活を営んでいくために、次の言葉をぜひ、読んでいただけると幸いです。

道具ちゅうのは、人それぞれ使い方が違いますのや。わたしにはわたしの使い方がありますし、あの大工にはあの人なりの使い方があります。

道具ちゅうものは、そういうもんでっせ。それぞれが使い易いように工夫してあるんですな。

これはカンナに限ったことやないけど、道具はよく研ぐことです。研ぎの腕がまず第一でんな。刃物をよく研げなければ、道具は使いこなせません。

そのためには、いい砥石がいりますな。道具だけ良くて、どうにもなりませんのや。研ぎがでけん人は素人や。

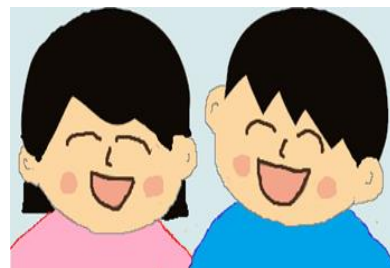


西岡常一『木に学べ』

この言葉を残した西岡 常一（にしおか つねかず）さんは、法隆寺の宮大工の棟梁を務めた方です。「棟梁は、木のクセを見抜いて、それを適材適所に使うこと。木のクセをうまく組むために、人の心を組むのが、まず棟梁の役目」と言っています。また、道具も同様に人間の体の一部だと思って使わなくてははいけません。大工さん一人ひとりが自分の使いやすいように道具を研いで磨いていてこそはじめて、道具はその人の体の一部となり、なすべき仕事を遂げることができるのだと思います。

私たち大人は、子どもたちへ、単に「道具の使い方」を簡単に教えてしまいがちですが、道具を使いこなすための準備と心の持ちようを、しっかり教えていきたいものです。

本年度の善前小学校は、教職員一同、子どもたちのよさを生かすための準備にも全力を尽くしていきます。何卒、よろしくお願いいたします。



**家庭でのご協力をお願いします。** 事故防止と生活習慣も、自分のよさを生かす準備です。

- ◎ 「とびだし禁止」 （交通事故に遭わせないよう、口がすっぱくなるほど言い続けましょう）
- ◎ 一人で起きる。 （夜遅くまで起きていて、朝起きられない子がいないようにしましょう）
- ◎ あいさつと返事をする。 （あいさつなどの「しつけ」は、家庭の中で最も大切な教育です）
- ◎ はきものをそろえる。 （家庭でも学校でも同じ行動がとれるように指導をしていきます）